横須賀市排水設備指針

現基準書(改正前)	新基準書(R7.4月改定)
第 4 章 排水設備の施工 第3節 屋外排水設備の施工 1排水管の施工	第 3 章 排水設備の設計 一部簡素化 図面ひな形変更 第 4 章 排水設備の施工 第3節 屋外排水設備の施工 1排水管の施工 耐震性が求められる施設においては、最終ますから建物までの埋設された排水管にてゴム輪接合及び圧縮ジョイント接合、可とう性継手を使用することが望ましい。

排水設備指針の運用基準

現基準書(改正前)	新基準書(R7.4月改定)
<p>2. 区画統合による公共汚水ます等の設置についての取扱い</p> <p>必要としなくなる公共汚水ます等は、本管取り付け部分(支管)にて閉止し、自費施工工事により撤去すること。</p> <p>ただし、排水設備設置計画において勾配等が物理的に取りきれない場合等を除く。</p>	<p>2. 区画統合による公共汚水ます等の設置についての取扱い</p> <p>必要としなくなる公共汚水ます等は、本管取り付け部分(支管)にて閉止し、自費施工工事により撤去すること。</p> <p>ただし、排水設備設置計画において勾配等が物理的に取りきれない場合等を除く。</p> <p>区画統合により必要としなくなる公共汚水ます等は近い将来再利用できると判断したものに限り、閉栓や養生をして残置することも可とする。ただし、現場の条件や土地利用の見通し等によって対応が異なるため、事前に相談をすること。</p>